

番組審議会

第639回

令和2年6月

■審議会の構成

委員総数 10名

委員長 音 好 宏

副委員長 中 江 有 里

委 員 江 澤 佐知子 尾 縣 貢
萱 野 稔 人 喜田村 洋 一
佐 藤 智 恵 長 嶋 有
藤 原 帰 一 水無田 気 流

TBSテレビ 佐々木 社 長
國 分 常務取締役
伊佐野 取締役
合 田 編成局長
本 田 報道局長
海 本 制作局長
中 川 制作局制作一部長
樋江井 制作局制作一部部次長
福 田 プロデューサー
中 山 編成考査局長
鈴 木 編成考査局視聴者サービス部長
岩 村 番組審議会事務局長

- 今回の審議会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一堂に会しての会合とせず、各委員が意見表明の書面を提出し、それをもとに意見を交換した。

■議事概要

(1) 審議事項

- 1) 「東大王 生放送」 5月27日(水) 放送分
- 2) その他

(2) 事務局報告事項

- 1) 視聴者からの声について
- 2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】

(「東大王 生放送」について)

- まさに「今」のニーズに適合した成功番組だった。家族がターゲットだろうが、一人で見ても結構面白く、リモコンで参加まではしなくとも、徐々にクイズ番組に没頭した。レベルも高すぎず、挑戦しやすい。この形式を今後のクイズ番組のフォーマットのひとつに加えてはどうか。
- 「なぜ、東大？」と思っている視聴者も多いはずだ。彼らを芸能人のように扱うことにどのような意図があるのか。京大や有名私大では、その役割を果たさないのだろうか？
- 生放送にすることにより視聴者は、東大生と同じラインに立ってクイズを解くという番組との一体感を得られたのではないか。リモート会議などが社会に広がる状況を番組制作にうまく活用した例として、高く評価されるべきだ。
- 出演者に対する配慮が今後の課題だ。出演者の多くは素人であり、すでにアイドル的な人気が出ている人もいるようだが、人気が高まるほどSNS上で話題になることも多くなり、誹謗中傷にさらされる恐れがでてくる。素人の出演者に対しては、細心の注意を払ってほしい。
- 「東大の卒業生としては、東大生が他の人に負けるところを見たくない」と思っていたが、実際に自分が解答者として参加してみると、「東大生が間違えた問題に正解するととてもうれしい」と感じることに気づいた。この番組の醍醐味は「東大生が間違える」ところにあったのかと感じた。

- 東大生の個性が分かりにくい。皆、頭の良さが似ているから余計に。自室のムードや髪形が同じなのは仕方ないが、服装まで同じだと見分けがつかず、感情移入のしようがない。だから誰が勝とうと負けようと、あまり面白みを感じない。司会による紹介も含め、もう少し彼らの個性が分かる工夫があっ
ていい。
- 現役東大生という素人の素朴さや清新さが魅力であったのに、それが変化してきている。本来彼らは、大学卒業とともに去って行く期間限定的な存在であるはずだったが、東大を卒業した後も番組に関わり続けるケースも出ている。この変化は、番組の魅力を変質させていないか。個人的には、大学卒業とともに解答者も卒業した方が、番組の魅力を新陳代謝させていくと思う。
- トラブルなくオンライン生放送をやり遂げたことを評価したい。オンライン会議などでは、回線状況によって思わぬ障害が生まれる。自宅との接続でありながら画像は鮮明で照明も適切、事前に周到な準備が行われた賜物だろう。

* TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。 (TBSテレビ番組審議会事務局)